

スローライフ・たいむす。TIMES



こんにちは、編集長兼パート社員の“あきこ”です。9月に入っても相変わらず暑さが続いています。しかし夜になるとコウロギをはじめ秋の虫たちのハーモニー。だんだんと秋の移り変わりを感じてきましたね。さて秋といえば、スポーツの秋、食欲の秋です♪ そんな中みなさん、秋といったら何を想像されますか。私はやっぱり「サンマ」。秋に食べる脂ののったサンマが大好きで、この時期すごく頻りに食卓に並びます。カルシウムたっぷりでお財布にぎわう立派な1品。でも出始めということで、お値段が高いのがお財布にちょっと・・・(涙)。そうはいいつつも我慢できずにお買上げ。今年のサンマはとっておデブちゃん。すご〜く美味しいですよ。ところで、お魚を焼いた後の片付け、みなさんはどうされていますか。秋のサンマは食べたいけど、お皿やフライパンなどについてお魚のニオイ・とっても気になりますよね。特に今年は、残暑も続いているので、おし暑さも加えて、ニオイもさらに気になるどころ。魚を焼いたフライパンを普通に洗剤であらってもニオイとれないうえ、そんなときは、手間でもそのあとに、ニオイのついたフライパンに茶がらを入れて10分くらい煮出すと不思議とニオイがとれるんですよ。さらに気になるお部屋のニオイもお茶の葉の効果なのか、緩和されたような気がします。これってカテキン効果かしら。みなさんも試してみてくださいはいかがでしょうか。😊

「モザイクタイル」

先日、来場されるお客さまに楽しんでもらう目的で、モデルハウス前でモザイクタイルをつかった写真たてづくりを行いました。すると、いつのまにかスタッフも競うようにつくり始めてしまいました。「あれ？お客さんが作る材料なくなっちゃう？(笑)」そう思ったらスタッフのトミーさん「見本になるものがいつかあった方がわかりやすいでしょう(笑)」。なので、私も作らせてもらいました(写真中央)



長年待ち望んで叶えた家づくり。 ～ 家づくりヒストリー・さいたま市大宮区Yさま邸 ～

実家を離れ職場のある静岡に住んでいたYさまは、親とは別々に暮らしていました。重要な仕事を任されていたYさまはいつも帰りが遅く、親の住む埼玉に戻る機会もお盆やお正月といった忙しい日々を過ごされていました。そんな中「いずれは生まれ育った埼玉に戻り親と一緒に暮らしたい」そう考えておりました。



Yさまが計画していたのは、築35年が経つ実家の建替えて、本下水が入る予定になっている2年～3年と少し先の時期・・・それでも時間をかけてじっくりと計画を進めることにしたのです。そんなある日、私たちが開催した住宅セミナーに参加されました。今からちょうど3年ほど前のこととなります。既に家づくりの経験もあり知識のあったYさまご家族でしたが、それでも熱心に耳を傾ける姿があり、住まいづくりでの想いが感じられました。その後、何度となく完成現場などにも足を運ぶなどし、住まいづくりの方向性などをひとつずつ確かめていきました。そして検討を重ねること2年、私たちと本格的に住まいづくりが始まりました。仕事の忙しい時期であったにも関わらずYさまは合間をぬって、毎週のように静岡からさいたまに訪れて打合せを行いました。打合せ中、それぞれの考えや想いを気づかうかのようなYさまとお母様の姿。そこには長年待ち望んでいた住まいに寄せる想いというものを感じられました。しかしその想いを叶えるためにはさまざまな問題もクリアしなくてはなりません。計画場所が調整区域ということで課題もたくさんでてきました。本当に希望通りのプランが出来るのか・・・時にはプランの変更をしないといけないということもありました。しかし、こうした問題をひとつずつ解決していきました。そしてようやく想いがカタチとなっていったYさまの住まい。



私達とはじめて出会ってから丸3年の歳月。この夏ついに引渡しを迎えました。庭先にはYさまご家族がどうしても残したかったという松の木。亡くなったお父様もとても新居の完成を喜んでくれていることでしょう。

